

広島ガス第四ビル

No. 21-003-2010更新
改修・保存
事務所

| | | | |
|-------|----------------------------|--|--|
| 発注者 | 広島ガス株式会社 | カテゴリー | A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO2技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB |
| 設計・監理 | 改修：株式会社フジタ広島支店 一級建築士事務所 | E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携 | |
| 施工 | 株式会社フジタ | I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他 | |

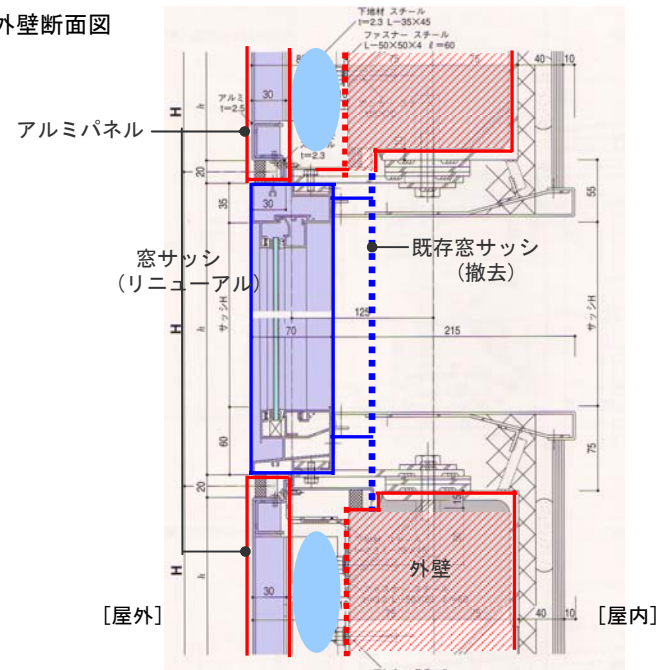
外装リニューアル等による省エネルギーの提案

窓+パネルによる外装リニューアル

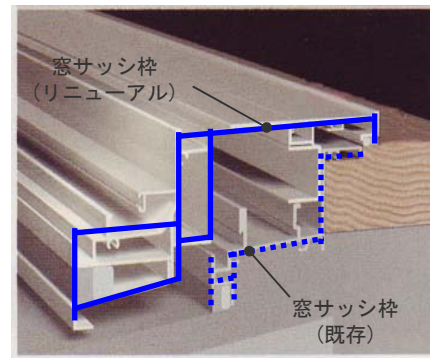
窓サッシの改修と、外壁をアルミパネルの二重壁にすることで断熱性能の向上を図り、省エネルギー化を目指した。既存外壁（コンクリート+吹付）の劣化を修復し、アルミパネルで覆うことで雨水等の浸入を防止し、既存コンクリート壁の中性を抑え劣化を防止する。さらに一部ノンシール工法により、メンテフリーを図った。

また、サッシ廻りには四方水切枠を設置し、外壁を伝う雨水・汚れを窓枠の手前で落下させ、サッシ・ガラスを守り、耐久性と美観向上を目指した。

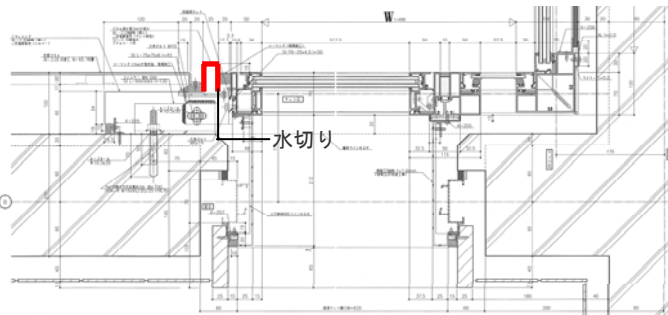
外壁断面図



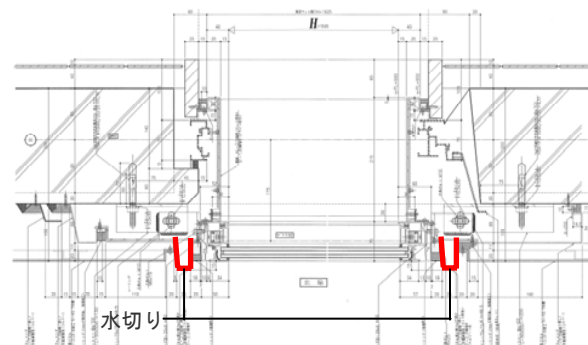
窓サッシ特殊工法



たてすべり出し窓、コーナー付FIX窓連窓、横断面

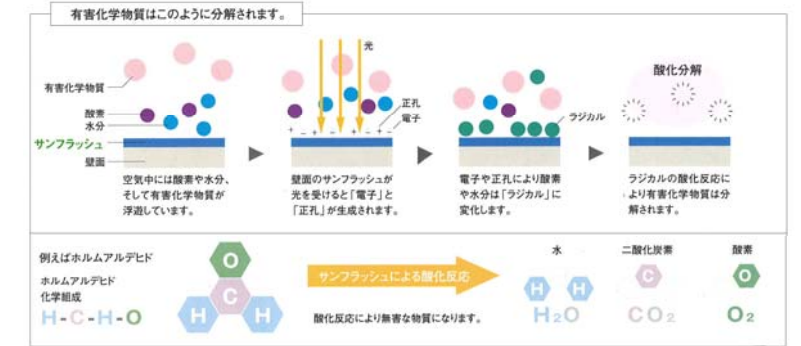
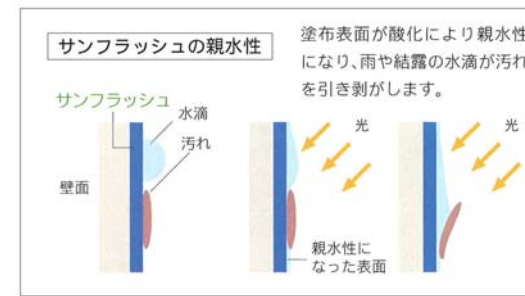


たてすべり出し窓 縦断面



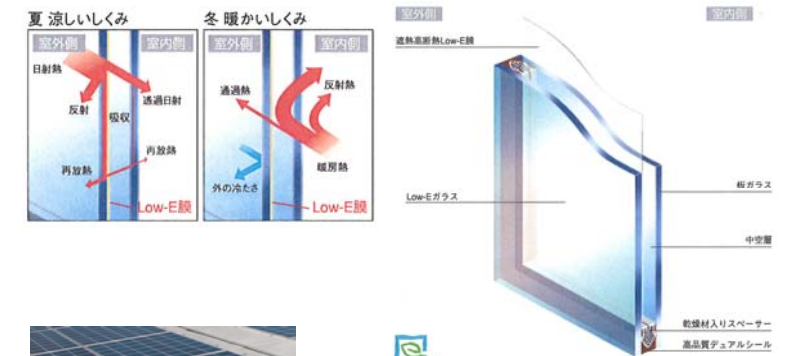
外壁アルミパネル保護

光触媒加工を採用。既存外壁を修復し、アルミパネルを特殊加工で覆うことにより、建物の耐用年数の延長を目指した。外壁・アルミパネルに付着する汚れ等を分解することで、省メンテナンス・美観向上を目指した。



窓ガラス仕様

窓ガラス仕様を複層ガラス+Low-Eガラス（低放射複層ガラス）とすることにより、従来の複層ガラスよりも断熱性能が向上し、空調負荷の軽減が可能となった。結露防止・省エネ効果・近隣への西日反射光の抑制を図った。



自然エネルギーによる発電システム

CO2排出ゼロのクリーンな発電システム。太陽光発電パネルを設置し、電力消費の一部をCO2を排出しない「新エネルギー」で賄い、地球環境に対する企業の姿勢をアピールしている。



太陽光発電パネル

玄関廻りイメージパース



完成イメージパース



設計担当者

建築：上野貴章／構造：木戸英樹
設備：上田勇／電気：濱中史紀

主要な採用技術（CASBEE準拠）

- Q2. 2. 耐用性・信頼性（外装アルミパネル光触媒加工）
- LRI. 1. 建物の熱負荷抑制（高性能ガラス）
- LRI. 2. 自然エネルギー利用（太陽光発電）

建物データ

所在地 広島県広島市南区
竣工年 2010年
敷地面積 4,007.77㎡
延床面積
構造 SRC造
階数 地上10階、PH1階